

Community Medicine

— 地域医療の架け橋 —

2020 年 秋号

第 65 号

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構

神戸中央病院

〒651-1145

神戸市北区惣山町 2 丁目 1-1

TEL 078-594-2211

FAX 078-594-2244

<http://kobe.jcho.go.jp/>



外科 (消化器外科)



胃癌、大腸癌、食道癌、肝臓癌、膵癌、胆道癌、などの消化器癌。胆石、虫垂炎（盲腸）、鼠径ヘルニア（脱腸）、など癌以外の消化器病。腸閉塞、腹膜炎などの緊急消化器病などを中心に、お腹の手術について24時間体制で対応しております。特に開業医の先生方とは御紹介患者さんの結果報告を迅速に行い、「顔の見える関係」を構築し、ベッドコントロールをしっかり行い、満床による断りが無いよう、「断らない消化器外科」をめざしております。術中・術後合併症の無い、体にやさしい低侵襲の腹腔鏡手術を積極的に行っております。地域住民の高齢化による消化器疾患患者さんの増加、地元の当院で治療希望の高齢患者さんの増加で、当院に対する地域住民のニーズが益々高くなっております。充実した医療機器・設備、モチベーションの高いコメディカルとのチーム医療推進など、受け入れ体制も更に整ってきております。地域住民の御要望に最大限、応えられるよう、地域の人々に信頼されるよう「断らない、待たさない、絶対あきらめない、困った時の頼りになる消化器外科」を目指して努力します。よろしく御願い申し上げます。

副院長 中川 登

● 当院の近況報告 ●

臨床研修病院として 院長 松本 圭吾

新型コロナウイルスの感染拡大も第一波、第二波の大きなピークは過ぎた感がありますが、9月末の時点で未だ一定数の新規発生があり、厳重な感染対策の継続が必要な状態です。当院は地域の公的中核病院として、十分な感染対策を行いつつ、救急医療をはじめとした通常診療を実施しています。

当院の特徴としては「地域医療支援病院」であるとともに「臨床研修病院」であることです。平成16年に新医師臨床研修制度ができ、「診療に従事しようとする医師は2年以上の臨床研修を受けなければならない」との臨床研修の義務化がなされています。当院は毎年4名の当院での専修研修医と数名の京都府立医大と神戸大学からの「たすきがけ」の研修医を受け入れています。研修医を病院として受け入れることは診療面で若い力となることのみならず、中堅以上の指導医層の医師にとっても教えることによる自身のブラッシュアップにもなります。今号では新任の指導層の医師と研修医2年目の先生方とのコラボでの近況報告をいたします。

近隣医療機関のご紹介

こさか家庭医療クリニック

〒651-1143 神戸市北区若葉台1-1-43

TEL 078-591-8070

診療科目：内科・外科・小児科



近藤 医師

小坂 院長

野々上 医師

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前診 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×	×
午後診 14:00~17:00	●※1	×	×	●	●※1	×	×	×
夕 診 16:00~19:00	●※2	●	●	×	●	×	×	×

※1:14:00~16:00まで ※2:16:30~19:00まで

外来担当医

月(午前診)・水・金曜日(夕診):小坂 医師

月(午後、夕診)・金曜日(午前、午後診):今藤 医師

火・木曜日:野々上 医師

往診…月・水・金曜日 午後12:00~13:00

こんにちは。こさか家庭医療クリニック院長の小坂と申します。

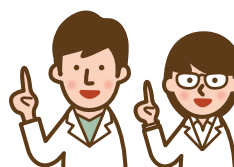
突然ですが、質問です。いろいろな病気があり、たくさんの病院に通院していて、どこか一つに絞れたらいいのとお考えではありませんか？また、体が不自由になってきたので、自宅に定期的に診察しに来てくれて、薬を出してくれると助かるのにな。とお考えではありませんか？

家庭医療はそうした患者さんのご希望をかなえられる方法の一つです。私たち家庭医療を行う医師、家庭医は科を問わない様々なよくある一般的な病気を診ることができます。専門的な治療が必要な場合は専門医と連携しながら診療もいたします。また、病気だけではなく、より生きやすくなるよう介護環境や生活環境を整えるお手伝いすることも診療の一つです。そして、これからも元気でいられるよう様々な提案をいたします。あるいは人生の最後を自宅で迎えたいという方にご自宅で最後まで快適に過ごしていただくようお手伝いもしています。

神戸中央病院への通院が必要なくなったとき、北鈴蘭台駅周辺にお住まいでかかりつけ医をお探しの方や、かかりつけ医が必要だけど通院できず在宅診療を必要とされている方はぜひ当院をお選びいただけると幸いです。



就任・研修報告



就任後3ヶ月経過して・・・

令和2年4月に明石市民病院から異動してきました。兵庫県の生れ育ち、北海道大学の出身です。病理診断科で働いています。明石からこちらに来てまだ3ヶ月ですが、嬉しいこと、驚くことなど、色々ありました。

嬉しいことの一番は、森林植物園が近いことで、北鈴蘭台駅前から無料連絡バスが出ていますし、歩いて行ける距離なのも嬉しいです。

驚いたことはバス道横の石垣で、オオミスジコウガイビルを生れて初めて見たこと、多い日には最大 50cm が5匹いました。また、下界より2~3度涼しいこと、霧が多いことも新鮮な驚きでした。

明石では、これまで見たことのない病変を何回か経験しました。それまでの豊岡、塚口、尼崎とは病変のパターンがかなり異なるのかも知れないとの印象を持っていました。こちらに来てまだ日が浅いのですが、明石とも異なるのか、何か地域的な特性があるのか、そのような目で顕微鏡を覗く毎日です。

病理診断室に籠ってひたすら顕微鏡を覗くのが仕事ですので、患者さんは勿論、地域の開業医の先生方とも顔を合わせることも言葉を交すこともありませんが、顕微鏡を通じてこれまでの経験をこの地域に少しづつ還元して行きたいと考えています。

最後にもう一つ驚いたこと。病院からの素晴らしい眺望です。病院屋上に展望台や天文台がないのは何とも勿体ない話です。



病理部(病理診断科)
安水 良知



就任・研修報告



就任後3ヶ月経過して・・・

平成6年に大学を卒業し、2年間の大学病院での研修後、済生会滋賀県病院、松下記念病院を経て、このたびはじめて兵庫県で勤務することとなりました。京都、滋賀、大阪に続いて4つめの都道府県となります。

私にとっては前身の「社会保険神戸中央病院」の名称の方がなじみ深く、研修医の頃にお世話になった多くの優秀な先輩方が社保神戸出身で、当時の皆の憧れでした。3年目の研修先（今でいう専攻医）の希望を当時の医局長に聞かれたときに、同期5人全員が社保神戸を希望して、全員でくじ引きをしたことを懐かしく思い出します。

さて、近年は外科手術も様変わりし、消化器外科手術は開腹手術から腹腔鏡下手術へとシフトし、当院でも全体の手術症例のうちの腹腔鏡下手術の占める割合が多くなってきました。腹腔鏡下手術はキズが小さく、回復が早いなどのメリットがありますが、一方で鉗子が入る角度に制限があり、対象物に対して非常に近接した視野になるため、全体像がわかりにくいなど特有の注意点があります。

当院では前任の曽我先生の尽力もあり、段階的に適応症例を増やした結果、各スタッフの内視鏡手術の経験数は相当なものとなっています。また今年度より新しい機器も導入されており、今後も安全確実な内視鏡手術を推進していきたいと考えています。



外科部長
谷 直樹



眼科
古川 達也

就任後3ヶ月経過して・・・

JCHO神戸中央病院の眼科へ就任して3か月が経過しました。

今年の1月に前病院で本院への辞令を受け、こちらに来てからもCOVID-19による感染拡大がおこり、就任早々と色々とバタバタしてしまいました。

患者様に多少なりともご迷惑をおかけすることもあったと思います。謹んでお詫び申し上げます。

まず、私はこの3か月の間に現場スタッフと相談し、分かりにくかった書類や、患者様の受診しやすい環境を整えさせていただくように予約枠の変更等をさせていただきました。また、白内障手術以外にも網膜疾患の治療に力を入れており、硝子体注射等の投与を工夫することで、来院回数や金銭的な患者様のご負担も減らすように努力しております。

もちろん絶対に注射が必要な場合は早急に施行致しますが、経過がみることが出来る場合はしっかりと投与時期の検討を行い、施行致しております。

地域の開業医の先生方のお力添えもあり、御紹介患者様を増えてきております。引き続きではございますがご指導ご鞭撻ほどお願いできれば幸いです。

暗いニュースが続き、先の見通しが見にくい時世ではございますが、当科としては感染対策をしっかりとしたうえで、変わらず、患者様に寄り添った診療の方をさせていただこうと努力していきます。

就任・研修報告

研修医生活が始まって早くも1年半が経過し、来年度には卒業かと思うと少し物寂しい気持ちもします。本院での研修は各科ともに指導が行き届いており、充実した毎日を送ってきたと思います。今年度は地域医療研修で北区のクリニック・病院をいくつか見学させていただきました。クリニックも病院もそれぞれの個性を活かし、多様な形で地域医療に貢献していることを知り、医師としての自分の予見が広まったように感じます。残る研修期間も、日々貪欲に新しいことを吸収していきたいと思います。



研修医（2年目）
佐堀 暢也



研修医（2年目）
坂井 卓人

初期研修医として当院へ入職してから、早いもので1年半ほど経ちました。まだまだ未熟ではございますが、各科の指導医の先生方の下で、地域の患者様を中心に様々な症例を経験させていただけていると実感しており、大変感謝しております。また来年1月には、神戸市医師会プログラムで、北区のクリニック・病院にて研修させていただく予定になっております。その際に、地域の先生方にはご迷惑おかけすることもあるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

1年前は上級医の先生方に言われた通りのことをこなすだけの毎日でしたが、最近では症例について自分で考え積極的に先生方と議論できるようになりました。また後輩の研修医の先生から相談を受けそれに答えるようになり、少しずつ成長できていると感じています。

宮古島の病院での研修では外来や病棟の業務を上級医の先生方同様に一人で任せられることも多かったですが、今までの経験を活かすことができ無事に研修を終了することができました。また他の病院の研修医たちと一緒に研修できた1ヶ月は、自分にとってかけがえのない経験になりました。

当院での初期研修も残り約半年となりましたが、最後まで気を緩めず精進していきたいと思います。



研修医（2年目）
竹内 康浩



研修医（2年目）
上村 彩香

早いもので、医師国家試験に合格し晴れて研修医となってから1年半が過ぎようとしています。私は生まれ育った地元で医師として貢献できればという思いから、神戸市北区の医療の中核を担う当院での初期研修を希望致しました。

初めは右も左も分からない状態でしたが、全ての科の先生方が暖かく時に厳しくご指導下さり充実した研修生活を送ることができました。

また上級医の先生方のみならず他職種の方々にも様々なことでお世話になり、恵まれた環境にいると実感する毎日です。医師としての第一歩を当院で踏み出せて良かったと感じます。

初期研修は残り約半年となりましたが、自分に出来る事を一つずつ増やしながらか成長していけたらと思います。